

1 この科目の構成について

教 科	英語	科 目	コミュニケーション英語Ⅱ	単 位	3単位
対象コース	美術コース	対象クラス	2年7, 8組		
使用教科書	BIG DIPPER English Communication I BIG DIPPER English Communication II				
使用副教材	BIG DIPPER English Communication I ワークブック、ワークシート BIG DIPPER English Communication II ワークブック、ワークシート コーパス1800、キクタン4000				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能を関連させ、積極的に英語コミュニケーションを図ろうとする態度を育成する科目です。 ・コミュニケーションに必要な単語や熟語、文法の習得を目指します。 ・各単元の内容・構成から、学習者が多様な知識と教養を身に付け、主体的に社会形成に参画し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	①高校での学習の基本は授業です。先生の話をよく聞く。大事なところを確実にノートに書きとる。 辞書をたくさん使う。宿題をしっかりとやる。課題をきちんと提出する。これらのことを着実にこなせば、どんどん英語の力はつきます。特に、中学時代に英語が苦手だった人は、初心に帰って「授業を大切に」から再出発しましょう。 ②次の授業に備えての予習やその日に学習したことの復習は、英語学習に不可欠です。毎日机に向かい、教科書を開く。その習慣を身につけましょう。 ③定期考査の準備は、時間をかけて精一杯やりましょう。テスト対策は、学習したことを確実に身につけるための最高の機会です。しっかり準備すれば高得点に結びつきます。高得点は自信を生みます。「準備→高得点→自信」、このサイクルを手に入れましょう。 ④毎週1時間ALTによる授業を行います。身近な事象に関して、活動を通じて英語で表現する練習をします。
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
	(1) 学校 「学習の基本は授業」であることを自覚し、先生の話をよく聞く。大切なところはノートに書く。辞書を積極的に活用する。宿題はしっかりとやり、提出物は期限を守って提出する。当たり前の事を当たり前にやっていたら良いのです。そしてアクティビティの場面では自ら積極的に楽しんで下さい。 (2) 家庭 基本的に授業の予習は行いません。ワークブックを活用した復習、音読は毎日欠かさず行い、暗記して何も見なくても英文が言えるまで高めましょう。単語帳はコーパス1800の音声ダウンロードして、何度も聞いて音読しクイックレスポンスを心掛けましょう。

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
	定期考査60% 授業に対する取り組み10% 課題提出20% 毎週実施の英単語テスト10%
評価における定期考査の割合	
	60%

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
	1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度 単元の内容に関する問いに対して自分なりの答えを発言しようとする 単元の内容に関する感想を発表したり、他の生徒の発表を聞こうとする (2) 表現の能力 単元の文法項目や知識を用いて、正しい文を書くことが出来る 各パートの内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることが出来る (3) 理解の能力 単元の文法項目を用いて、正しい文を書くことが出来る 単元の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることが出来る (4) 言葉や文化についての知識・理解 単元の文法項目とその用法を理解している 単元の内容について理解している

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—	重視する評価の観点				
期	月	学習の項目	学習の内容	コ	表	理	言
1	4	Lesson 8 From Child to Adult: Ehen Do You Change?	<p>[コミュニケーション]</p> <p>未成年と成人の違いや大人らしい人と子どもっぽい人の違いについて、自分の意見を言ったり、相手の意見をしっかりと聞こうとしたりする。</p> <p>[表現]</p> <p>関係副詞(when, where), 形式主語<It is ~ that ...>, つなぎ表現を用いて、正しい文を書くことができる。</p> <p>[理解]</p> <p>人は経験を重ね大人になっていくことを理解したり、日本で成人年齢を引き下げることに対する意見について理解できる。</p> <p>[言語・文化]</p> <p>①関係副詞(when, where), 形式主語<It is ~ that ...>, つなぎ表現の用法を理解している。② 未成年と成人の違い, 大人らしい人と子どもっぽい人の違いについて理解している。</p>	●		●	
	5	第1回定期考査					
	6	Lesson 9 Food Miles: Where Does Our Food Come From? (1 2時間)	<p>[コミュニケーション]</p> <p>フードマイルズや日本の輸出入について自分の意見を話したり、相手の意見をしっかりと聞こうとする。</p> <p>[表現]</p> <p>助動詞を含む受動態, 関係副詞(how, why), 仮定法過去を用いて、正しい文を書くことができる。</p> <p>[理解]</p> <p>フードマイルズの考え方や日本で消費される食品の多くが輸入されたものであることを理解し、現在直面している問題点を理解できる。</p> <p>[言語・文化]</p> <p>① 助動詞を含む受動態, 関係副詞(how, why), 仮定法過去の用法を理解している。② 「フードマイルズ」の考え方および日本と諸外国との輸出入に関する事実について理解している。</p>	●			●
7	Lesson 10 Logical Thinking: A Skill for World-class Players (12 時間):	<p>[コミュニケーション]</p> <p>海外で活躍するスポーツ選手や論理的思考について関して自分の意見を話したり、相手の意見をしっかりと聞こうとする。</p> <p>[表現]</p> <p>間接疑問, 関係代名詞 what, one・another・other, 強調構文<It is ~ that ...>を用いて、正しい文を書くことができる。</p> <p>[理解]</p> <p>世界的なスポーツ選手にはスポーツの技術以外に必要なことがあることを理解し、練習に対する意識や論理的思考について理解できる。</p> <p>[言語・文化]</p> <p>①間接疑問, 関係代名詞 what, one・another・other, 強調構文<It is ~ that ...>の用法を理解している。② 論理的思考の重要性とその具体的な訓練方法について理解している。</p>	●	●			

年間学習計画			—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点			
期	月	学習の項目	学習の内容		コ	表	理	言
2	8	Lesson 1 Washoku Around the World (10時間)	[コミュニケーション] [表現] SVC (現在分詞、過去分詞) [理解] [言語・文化]		●			●
	9	Lesson 2 Chirori, the First Therapy Dog in Japan (10時間)	[コミュニケーション] [表現] SVO1O2 (O2=that SV~) [理解] [言語・文化]		●	●		
		第3回定期考査						
	10	Function 1 What Are You Going to Do This Weekend?(1時間)	[コミュニケーション] 内容を踏まえ、その状況に適した設定で対話に取り組みようとする。 [表現] [感情を表す/同情する]の表現を用いて、正しい文を話す/書くことができる。 [理解] 会話の流れやポイントを理解することができる。 [言語・文化] ① [予定を表す/意思を伝える]の表現の用法を知っている。② 会話独特の言い回し、決まり文句を知っている。		●			●
	11	Lesson 3 How Good is your Memory?	[コミュニケーション] [表現] 関係代名詞の継続用法 [理解] [言語・文化]		●	●		
	第4回定期考査							
12	Lesson 4 Space Elevator(13時間)	[コミュニケーション] [表現] 関係副詞 where の継続用法、未来進行形 [理解] [言語・文化]		●		●		

年間学習計画				—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	コ	表	理	言	コ	表	理	言
3	1	Function2 An Omamori Is What We Carry for Good Luck.(1 時間)	[コミュニケーション] 内容を踏まえ、その状況に適した設定で対話に取り組もうとする。 [表現] [説明する]の表現を用いて、正しい文を話す／書くことができる。 [理解] 会話の流れやポイントを理解することができる。	●							●
	2	<u>第5回定期考査</u>	[言語・文化] ① [説明する]の表現の用法を知っている。②会話独特の言い回し、決まり文句を知っている。								
	3	Lesson 5 Diversity Brings New Products(13 時間) ※道徳教育を行います。	[コミュニケーション] [表現] 関係代名詞の継続用法、助動詞 have pp～、完了不定詞 [理解] [言語・文化]	●							●